

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	10単位	10単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://nomata-dental.ac.jp/info/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://nomata-dental.ac.jp/info/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 函館共愛会理事長	令和7年6月11日～令和10年6月10日	財務・経営
非常勤	北海道国際交流センター 代表理事	令和7年6月11日～令和10年6月10日	財務・経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人野又学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>1月にシラバス作成会議を開催し、各教科における重点課題を協議したうえで教科担当教員が次年度の授業を計画する。</p> <p>その際には、教科間の進捗確認や重複防止のため打合せを重ねて調整している。</p> <p>授業計画は共通のフォーマットを使用して記載事項を確認し、完成後は学生のアカウントに送信している。(毎年4月)</p> <p>特に新生には、オリエンテーションにて説明機会をもち、授業の詳細についてシラバスを使用し説明している。</p> <p>なお、学校ホームページ『情報公開』にて公表もしている。(毎年4月)</p>	
授業計画書の公表方法	https://nomata-dental.ac.jp/info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>シラバスには教科ごとに評価方法が記載されており、全ての教科は100点満点とし、60点以上が合格で単位認定となる。</p> <p>また、前・後期それぞれに定期試験週間を設けており、教科授業時数の80%以上出席することで受験資格としている。</p> <p>試験終了後には、学年ごとの成績一覧表を作成し校長を含めた全教員にて『成績会議』を開催しており、単位の認定、再試験の実施要項の確認のほか、成績不振学生にたいする面談や指導についても協議している。</p> <p>また、再試験終了後にも再度『成績会議』を開催し、単位認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学年共に前・後期履修教科の総合得点一覧を作成し成績評価を行っている。ただし、教科『学級コミュニケーション』は除外する。 また、各学年の総合得点分布図は、ホームページにて公表している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://nomata-dental.ac.jp/info/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の条件は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての授業教科の試験、臨地臨床実習評価に合格し、すべての単位取得が認定されていること。 ・卒業認定までに学費が全額納入されていること。 <p>上記結果をもって卒業認定会議を開催し、要件を満たしていると判断された場合に卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://nomata-dental.ac.jp/info/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nomata-dental.ac.jp/info/
収支計算書又は損益計算書	https://nomata-dental.ac.jp/info/
財産目録	https://nomata-dental.ac.jp/info/
事業報告書	https://nomata-dental.ac.jp/info/
監事による監査報告（書）	https://nomata-dental.ac.jp/info/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科	平成22年 文部科学省 告示152号			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼夜	1.2年	1,180時間 /55単位	795時間 /27単位	750時間 /25単位		30時間 /1単位
			2,755時間/108単位				
	昼間	3年	講義	演習	実習	実験	実技
			1,165時間 /61単位	880時間 /22単位	900時間 /20単位		40時間 /1単位
2,985時間/104単位							
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		75人	0人	6人	72人	78人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>シラバス作成会議を開催し、各教科における重点課題を協議したうえで教科担当教員が授業を計画する。</p> <p>その際には、教科間の進捗確認や重複防止のため打合せを重ねて調整している。</p> <p>完成した授業計画は共通のフォーマットを使用して記載事項を確認した後に製本し、学生に配布している。</p> <p>特に新入生には、オリエンテーションにて説明機会をもち、授業の詳細 についてシラバスを使用し説明している。</p> <p>なお、学校ホームページ『情報公開』にて開示している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>前・後期それぞれに定期試験週間を設けており、授業出席率 80%以上が受験資格となる。成績評価基準と方法はシラバスに教科ごとに記載しているが、全ての教科とも、100点満点とし、60点以上が合格で単位認定となる。</p> <p>試験終了後は、学年ごとの成績一覧表に基づき『成績会議』を開催し、単位の認定、再試験の実施要項の確認のほか、成績不振者にたいする面談 や指導等についても協議している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級には、すべての教科について単位取得が認定されていること。</p> <p>卒業認定は、臨地臨床実習を含めて全ての単位取得が認定されていることと、卒業認定会議までに授業料が全額納入されていることが条件になっている。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制となっている。</p> <p>各学年ともに新年度早々には担任が全学生と個別面談しており、学習や学校生活全般、友人関係、就職等、幅広い相談ができるよう個室の面談室 が整備されている。</p> <p>また、演習授業では教員が3～4名で指導にあたっている他、放課後に マネキン実習室、基礎実習室、PC実習室等を開放しており、学生は自由に 自己学習できるようにしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	25人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
歯科医院、歯科診療室			
(就職指導内容)			
就職ガイダンス5回実施、校内就職説明会開催			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
歯科衛生士国家試験合格 100% 歯科医療事務検定3級試験合格 100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	1人	1.2%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学級運営の組織的な取り組みとして、新入生は『学級コミュニケーション』をゼミ形式で行い、人間関係の固定化を防ぐよう交流を深めている。</p> <p>また、学級満足度調査を年間2回実施し、クラスの問題発見・解決を早期に行うなどクラス内の円滑な運営に尽力している。</p> <p>成績不振学生には担当教員が個別指導や、学習計画等の面でサポートしている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
歯科衛生士科	200,000円	550,000円	190,000円	その他は実験実習費
	200,000円	620,000円	180,000円	令和7年度入学生から
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://nomata-dental.ac.jp/info/		
第三者評価の基本方針(実施方法・体制)		
『自己点検評価報告書』の完成後、委員を学校に招請し開催する。 報告書に基づき学校側から説明し、質疑応答、委員から意見・評価をいただく。 (構成) 企業等委員3名(函館歯科医師会2名、北海道歯科衛生士会函館支部1名) 実習施設指導者1名、卒業生1名 合計5名 (項目) 教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集 (活用) 委員の意見は項目ごとに集約し、速やかに学校教職員に報告して情報を共有。 課題となった項目に関しては、校内会議の際に協議するほか、教務委員会にて協議し改善を図る。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
一社) 函館歯科医師会 タカミ歯科クリニック	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	企業(副会長)
一社) 函館歯科医師会 石塚歯科医院	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	企業(理事)
一社) 北海道歯科衛生士会函館支部	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	企業(支部長)
なしき歯科医院	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	実習指導者
函館歯科衛生士専門学校同窓会	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://nomata-dental.ac.jp/info/		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)